



国土交通省

NEWS RELEASE

国土交通省 近畿運輸局和歌山運輸支局

問い合わせ先

(所属) 和歌山運輸支局 運航・船員部門

(担当) 吉村・渡邊

(電話) 073-422-0606

令和7年9月9日

「海の教室 ～フェリー乗船体験～」を開催しました！ ～和歌山市内の小学生が「海」「船舶」「船員の仕事」を学びました～

和歌山運輸支局では海事関係団体との共催で、海事思想の普及及び将来における船員確保推進の一環として、「海の教室 ～フェリー乗船体験～」を当支局管内のフェリー会社の協力により開催しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 実施概要

日 時 令和7年8月20日(水) 8:25～15:40

場 所 南海フェリー株式会社 フェリー船内

【海の教室①(往路)】「フェリーかつらぎ」

【海の教室②(復路)】「フェリーあい」

対象者 和歌山市内の小学生(4年生以上)とその保護者 14名

主 催 近畿運輸局和歌山運輸支局、公益社団法人近畿海事広報協会、和歌山県海運協会、
和歌山県海運組合、近畿内航船員対策協議会

後 援 南海フェリー株式会社、和歌山市教育委員会

2. 主な内容

【海の教室①(往路)】

“和歌山～徳島”間を航行中の「フェリーかつらぎ」船内にて次の講演を実施

演 題: 「海と船に関するお話し」

内 容: 海運の重要性をはじめ船舶の運航や船員の仕事の概要について分かりやすく説明

【海の教室②(復路)】

“徳島～和歌山”間を航行中の「フェリーあい」船内にて次の見学等を実施

内 容: 「船内見学」「ライフジャケット着用/ロープワーク体験」を実施

配布先

和歌山県政記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ 和歌山県地方新聞記者クラブ

「海の教室 ～フェリー乗船体験～」を実施しました

近畿運輸局和歌山運輸支局では令和7年8月20日（水）、海事関係団体との共催で「海の教室 ～フェリー乗船体験～」を和歌山～徳島間を航行中のフェリーで開催しました。この乗船体験は、海事思想の普及及び将来における内航船員確保推進対策の一環として実施しているもので、当支局管内のフェリー会社の協力を得て行い、また、当支局以外の主催者である和歌山県海運協会、和歌山県海運組合、公益社団法人近畿海事広報協会、近畿内航船員対策協議会とも連携して開催することができました。当日は和歌山市内の四年生以上の小学生とその保護者14名が参加しました。

今回の「海の教室 ～フェリー乗船体験～」は、和歌山～徳島間を約2時間で結ぶフェリーを運航している南海フェリー株式会社の「フェリーかつらぎ」と「フェリーあい」の船内において、往路（和歌山→徳島）及び復路（徳島→和歌山）にて、それぞれで行いました。

往路では、8時25分発徳島行き「フェリーかつらぎ」に乗船した後、海の教室の会場にて、主催者を代表して、近畿運輸局和歌山運輸支局の 大江 和弘 支局長が挨拶し、続いて、南海フェリー株式会社 取締役社長 小林 敏二 氏からも挨拶をいただき、「海の教室①」として、近畿内航船員対策協議会の白石構成員（白石海運株式会社 代表取締役専務）が講師となり、「海と船に関するお話し」と題して講演をしていただきました。



講演では講師が手作りしたパネルや船の形をしたプラスチック製組み立てブロック玩具を使って、海運や船員の仕事が身の回りの生活にどのように関わっているのかを紹介していただきました。また、子ども達が積極的に参加できるよう、海運に関するクイズを出題する形で行い、出題されるたびにたくさん子ども達から手が挙がり、今まで知らなかった世界の話に興味を持ってくれたようです。また、保護者の方々にも「船員の仕事」に関心を持っていただけたようで、将来の船員確保に繋がる有意義な講演となりました。

講演後も講師の周りに子ども達が集まり、次々と講師に質問し、「海の教室①」の講演は盛況のうちに終了しました。その後、「フェリーかつらぎ」は定刻どおり 10 時 30 分に徳島港に到着し、下船しました。



下船後は、さらに海に興味をもってもらうために徳島県鳴門市にある「渦の道」を参加者で訪れました。「渦の道」は鳴門海峡に架かる大鳴門橋の橋桁内に造られた海上遊歩道です。海上遊歩道は橋桁の補修工事及び塗装工事のため、足場や防災シートが掛けられており、一部景観が遮られており、また、訪れた時間帯には小さい渦しかなかったものの、子ども達は遊歩道から見る渦潮や景色に感激し、親子でたくさん写真を撮っており、楽しい一時となったようです。



「渦の道」の後は、徳島港に再び戻り、「フェリーあい」に乗船しました。復路でも、「海の教室②」として、南海フェリー株式会社の船員の方から「船内見学」と「ライフジャケット着用体験・ロープワーク体験」を行っていただきました。

最初に「船内見学」を行い、通常立ち入る事が出来ない船の操縦室も特別に見学させていただきました。操縦室では、子ども達は実際に舵に触れ、船員の方から舵の切り方を教えてもらったり、レーダーを見て、他の船の情報や行先が分かることに、興味津々で、操縦室を満喫していました。



その後、海の教室の会場へ戻り、「ライフジャケット着用体験・ロープワーク体験」を船員の方による指導の下で学び、最初にライフジャケットの着用体験を行い、子ども達は船員の方から「窮屈でもしっかりと紐を締めましょう」など正しい着用方法を教わっていました。続いて行われたロープワーク体験では、もやい結びの結び方について学び、すぐにできた子ども達もいて、「できたー」などと楽しみ、「海の教室②」を終了しました。

その後、子ども達は南海フェリー株式会社が用意してくれた船長服を着て、記念写真を撮るなどして、船旅を楽しんでいました。「フェリーあい」は定刻である 15 時 40 分に和歌山港に到着し、「海の教室 ～フェリー乗船体験～」を無事に終了しました。

今回の「海の教室」では、将来を担う子ども達に海運の重要性を知ってもらうことができただけでなく、「船内見学」等を通して船にも興味を持ってもらうこともできました。また、子ども達だけでなく、その保護者の方々にも参加していただきましたので、保護者の方の中には「船員さんの待遇がよいと知って、興味がわきました」との声もあり、船員の仕事についても広く周知することができ、将来における若年船員確保の推進にも繋がったものと思われます。

最後になりましたが、当支局では今後も「海の教室 ～フェリー乗船体験～」をはじめとした様々な取り組みに力を尽くし、海事思想の普及や内航船員確保推進に努めてい

きたいと思っております。

(近畿運輸局和歌山運輸支局)